

ランチオンセミナー

ランチオンセミナー 1

6月29日(月) 12:15 - 13:15

第2会場

Considerations for Immunotoxicity Evaluation in biopharmaceutical development using the non-human primate

講師：Stephanie Grote-Wessels, Dr.rer.nat. (Senior Study Director, Immunotoxicology, Covance Laboratories GmbH)

座長：高橋 道人 (病理ピアレビューセンター)

共催：コーヴァンス・ジャパン株式会社

ランチオンセミナー 2

6月29日(月) 12:15 - 13:15

第3会場

① 化学物質の安全性評価におけるPXBマウス®の活用 —非遺伝毒性発がん性物質のヒト危険度予測の事例—

講師：山田 智也 (住友化学株式会社 生物環境科学研究所)

② PXBマウス®を用いた肝毒性メカニズム研究の試み

講師：荒木 徹朗 (旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター 安全性・動態研究部)

座長：立野 知世 (株式会社フェニックスバイオ 研究開発部)

共催：株式会社フェニックスバイオ

ランチオンセミナー 3

6月29日(月) 12:15 - 13:15

第4会場

Different toxic impact of nanoparticles, nanofibers and nanoplatelets with similar chemistry after inhalation

(類似化合物から形成されたナノ粒子、ナノ繊維、ナノプレートの吸入毒性の差異)

講師：Otto Creutzenberg (Fraunhofer ITEM, Germany)

共催：Fraunhofer ITEM

ランチオンセミナー 4

6月29日(月) 12:15 - 13:15

第5会場

血漿中のmiRNAバイオマーカー探索からPathway解析までのご紹介 — Liquid Biopsy の実用化に向けて —

講師：北野 敦史 (株式会社キアゲン シニアアプリケーションサイエンティスト)

座長：宮本 憲優 (エーザイ株式会社 バイオフィーマシューティカル・アセスメント機能ユニット グローバル CV 評価研究部)

共催：株式会社キアゲン

ランチオンセミナー 5

6月29日(月) 12:15 - 13:15

第6会場

Photosafety Evaluation: The *in vitro* and *in vivo* US and EU Experience

講師：Douglas B. Learn, Ph.D. (Director of Photobiology and Cellular Therapeutic Safety, Charles River Laboratories)

座長：中村 和市 (北里大学 獣医学部 獣医学科 毒性学研究室 教授)

共催：日本チャールス・リバー株式会社

※上記ランチオンセミナー5に関しては、ランチオンセミナーチケット(整理券)の配布は行いませんので、直接会場へお越しください。先着順にご案内いたします。

ランチョンセミナー 6

6月30日(火) 12:15 - 13:15

第2会場

The Importance and Challenges of Primate Socialization Practices in the Preclinical Toxicology Setting

講師：Steve Glaza (Chief Operating Officer, SNBL USA, Ltd)
座長：角崎 英志 (株式会社新日本科学 Global 営業本部 副本部長)
共催：株式会社新日本科学

ランチョンセミナー 7

6月30日(火) 12:15 - 13:15

第3会場

**免疫不全マウスを用いた造腫瘍性試験の実施と今後の再生医療等製品の試験について
Tumorigenicity Tests in Genetically Immunocompromised Mice and Future Studies of Cellular and Tissue-based Products**

講師：花見 正幸 (株式会社ボゾリサーチセンターつくば研究所)
共催：株式会社ボゾリサーチセンター

ランチョンセミナー 8

6月30日(火) 12:15 - 13:15

第4会場

Immunotoxicity Assessment in Nonclinical Safety Studies: Challenges and Opportunities

講師：Norbert Makori, PhD (Director, General Toxicology, WIL Research Company, Inc.)
座長：中村 和市 (北里大学 獣医学部 獣医学科 毒性学研究室 教授)
開催：WIL Research Company, Inc.
共催：株式会社スリーエス・ジャパン

ランチョンセミナー 9

6月30日(火) 12:15 - 13:15

第5会場

Recent regulatory developments in carcinogenicity testing

講師：Brian Burlinson (VP Safety Assessment & Principal Scientist, CRS Europe, Huntingdon Life Sciences Ltd.)
共催：ハンティンドン ライフサイエンス株式会社

ランチョンセミナー 10

6月30日(火) 12:15 - 13:15

第6会場

創薬におけるiPS細胞活用の課題と解決策

講師：正木 英樹 (東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞治療分野)
座長：加藤 英政 (埼玉医科大学 リサーチアドミニストレーションセンター ゲノム医学研究センター・TR 部門)
共催：サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社

ランチョンセミナー 11 7月1日(水) 12:15 - 13:15 第2会場

***In Silico* QSAR手法による遺伝毒性リスク評価、ICHM7ガイドラインへの対応**
Computational approached to managing mutagenicity risk for ICHM7 and beyond

講 師：Chris Barber (Director of Science, Lhasa Limited)
 座 長：本間 正充 (国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部 部長)
 共 催：Lhasa Limited/CTC ライフサイエンス株式会社

ランチョンセミナー 12 7月1日(水) 12:15 - 13:15 第3会場

3D Spheroid Pathology

講 師：Klaus Weber (AnaPath GmbH, スイス)
 座 長：高橋 道人 (病理ピアレビューセンター)
 開 催：AnaPath GmbH
 共 催：Safety Alliance/AnaPath Toxicology Consulting Japan 株式会社

ランチョンセミナー 13 7月1日(水) 12:15 - 13:15 第4会場

High Content Analysisを用いたヒト肝毒性リスク評価

講 師：斉藤 淳一郎 (アステラス製薬株式会社 研究本部 安全性研究所 分子毒性研究室 主任研究員 博士 (薬学) JST 認定トキシコロジスト)
 共 催：サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社

ランチョンセミナー 14 7月1日(水) 12:15 - 13:15 第5会場

CELLULAR THERAPY: A PRECLINICAL DESIGN CASE STUDY

講 師：Shawna M. Jackman, Ph.D., DABT (Senior Research Scientist, Photobiology and Cellular Therapeutic Safety, Charles River Laboratories)
 座 長：Douglas B. Learn, Ph.D. (Director of Photobiology and Cellular Therapeutic Safety, Charles River Laboratories)
 共 催：日本チャールス・リバー株式会社

※上記ランチョンセミナー14に関しては、ランチョンセミナーチケット(整理券)の配布は行いませんので、直接会場へお越しください。先着順にご案内いたします。

ランチョンセミナー 15 7月1日(水) 12:15 - 13:15 第6会場

動物の行動評価の基礎と応用 - LSIM の挑戦 -

講 師：廣中 直行 (株式会社LSIメディエンス 創薬支援事業本部 試験研究センター 薬理研究部)
 司会・進行役：大西 康之 (株式会社LSIメディエンス 創薬支援事業本部 試験研究センター 安全性研究部 部長)
 共 催：株式会社LSIメディエンス